

災害情報

風水害について

雨の強さと降り方 (1時間雨量)

10~20mm未満

やや強い雨



地面一面に水たまりができる、話し声が聞き取りにくくなります。長雨になりそうなら注意が必要です。

20~30mm未満

強い雨



土砂降りの雨。傘をさしていても濡れてしまうほどの中雨です。小河川なら氾濫、また、がけ崩れの心配があります。

30~50mm未満

激しい雨



がけ崩れが起こりやすくなり危険地帯では避難の準備が必要です。道路規制が行われることがあります。

50~80mm未満

非常に激しい雨



滝のように降り、あたりが水しぶきで白っぽくなり、傘は全く役に立たなくなります。土石流が起こりやすくなり、多くの災害が発生する可能性があります。

80mm以上

猛烈な雨



息苦しくなるような圧迫感があります。大雨による大規模な災害が発生するおそれがある、厳重な警戒が必要です。

土砂災害の前兆



山鳴りがする。



雨が降り続いているのに、川の水位が下がる。



川の流れが濁り、流木が混ざり始める。



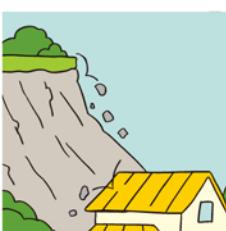
斜面から水が噴き出す。



沢や井戸の水が濁る。



地面にひび割れができる。



小石がパラパラ落ちてくる。

覚えておきましょう



逃げ方を覚えましょう



雨に注意しましょう

1時間に 20 ミリ以上、または降り始めから 100 ミリの降雨量になつたら注意が必要です。



土石流は速度が速いため、土砂の流れの方向に対して直角に逃げるようにしましょう。



日頃から家族全員で避難場所や避難する道順を決めておきましょう。